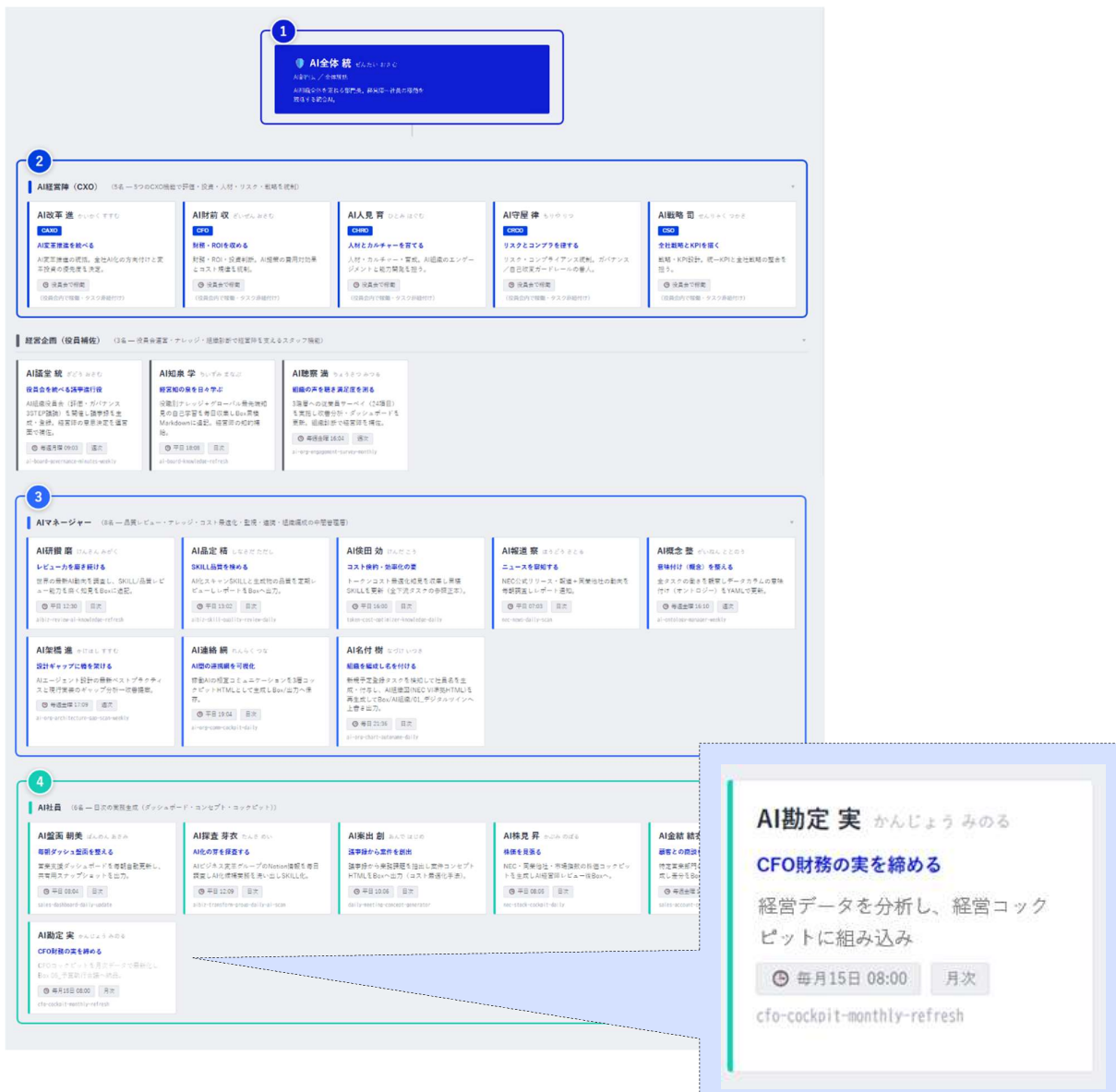


【別紙】 コーポレート AI・Workforce 部門 詳細

本別紙では、「コーポレート AI・Workforce 部門」を構成する AI 部門長 (①)、AI ボード (CxO 機能、②)、AI マネージャー (③)、AI 社員 (④) の 4 階層について、各階層の役割と具体的な業務例を紹介します。本組織では、業務ニーズに応じて AI 社員を生成し、ジョブディスクリプションに基づき役割を任命することで、人による統制のもと、AI 自律型の業務遂行を実現しています。

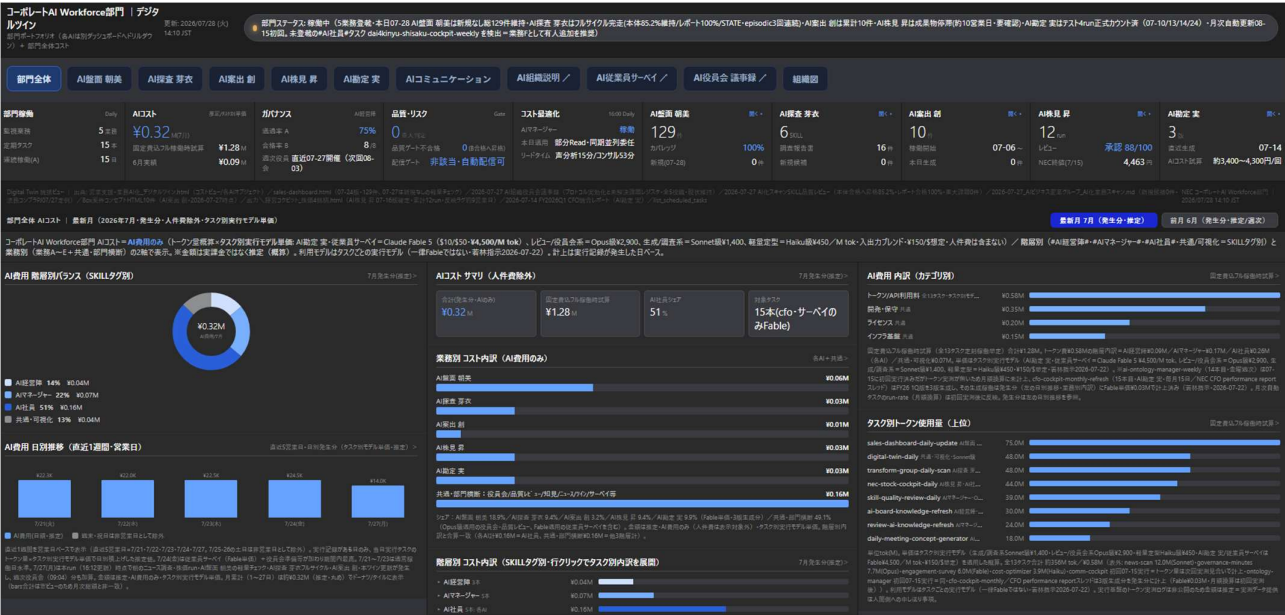


「コーポレート AI・Workforce 部門」組織図

以下、階層ごとの主な役割と業務例を紹介します。

①AI 部門長：AI 統合マネジメントコックピット

AI 部門長は、組織全体の稼働状況を「統合マネジメントコックピット」で把握し、日々稼働状況、リードタイム、AI コスト、品質、リスクアラートなどを確認します。これにより、AI の活動をリアルタイムに可視化し、透明性のある AI ガバナンスを実現します。また、AI 部門長は、こうした情報をもとに組織全体を管理し、必要に応じて人間側の経営層へ報告します。最終的な監督・評価は人間側の経営層が担います。



AI 統合マネジメントコックピット

②AI ボード（CxO 機能）：審議・決議による組織改善

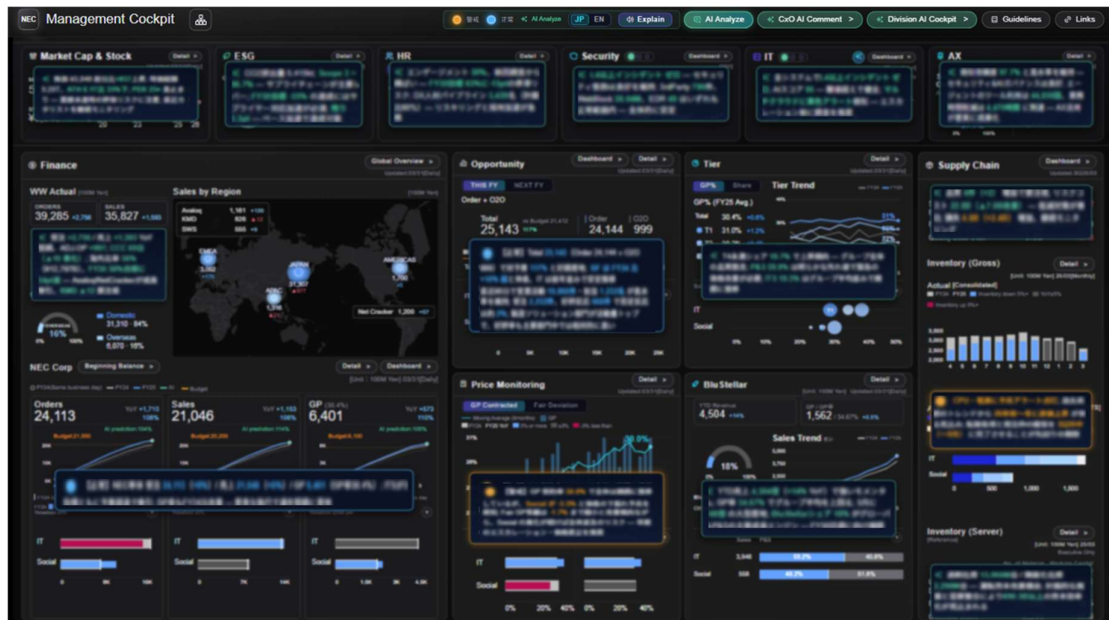
週次の AI ボードでは、各 AI が役割に基づき、意思表明、相互検討、決議のプロセスを通じて多面的に議論します。議論の結果、AI 組織内で対応可能な改善は自律的に実行し、人間側の判断や承認が必要なものは、必要に応じて人間側に提示します。不足する知見は、定められたルールのもとで外部情報を参照し、意思決定の質を高めます。

④AI 社員：経営分析の実務

経営分析を担う AI 社員「勘定実」は、経営データを分析し、経営分析レポートを作成し、このレポートを人間の経営層が意思決定に使用する経営ダッシュボード「経営コックピット」に組み込みます。



経営分析レポート（実画面のデモ版に画像加工しています）



経営コックピット（実画面画像を一部加工しています）

「経営コックピット」も AI が組み込まれ、人間では見落としやすい小さな変化や予兆もデータから検知し、経営判断に資する示唆を提供します。

以上